



兵庫県本部

〒650-0035 神戸市中央区浪花町60 朝日新聞神戸総局内 Tel.078-331-4144

<http://www14.plala.or.jp/AJAPS/>

今年度後半の行事にもどうぞよろしくご協力をお願いいたします

2016年度後半県本部行事予定(10月~3月)

行 事 名		実施日・締切	内 容
撮 影 会	パートII撮影会 (コンテスト募集)	11月3日(木・祝)	尾道の町並みとベッチャー祭り(広島県尾道市) 募集人員120名 参加費7,500円
	パートIII撮影会 (コンテスト募集)	2017年1月29日(日)	伊根の舟屋と町並み(京都府伊根町) 募集人員120名 参加費6,500円
	阪神地区撮影会 (コンテスト募集)	10月16日(日)	とんぼ道中と砥峰高原(兵庫県神河町) 募集人員40名 参加費6,500円
	神戸地区撮影会 (コンテスト募集)	10月9日(日)	氷上奴道中とコスモス畑(兵庫県氷上町) 募集人員40名 参加費6,500円
コン テ ス ト	自家プリント ※	10月31日締切	A4または4切、5枚以内、応募料郵便小為替1,000円 応募先:朝日新聞神戸総局 ※インクジェットプリンター出力作品に限る
	課題「青春」	2017年1月31日締切	
展 覧 会	県本部入賞作品展 県本部委員作品展	2017年2月21日(火)~ 26日(日)10:00~17:00 (初日13:00~)(最終日~15:00)	県本部各種コンテスト入賞作品 約250点展示 兵庫県本部委員の作品 A3~全紙 約26点展示 会場:兵庫県民アートギャラリー

<作品展の紹介>

- ☆フォトグループよもぎ支部 } 合同写真展 2016
- フォトグループ阪神支部 } 9月27日(火)~10月2日(日) 西宮北口ギャラリー6F
- ☆淡路支部展 9月26日(火)~10月8日(日) 県立淡路文化会館
- ☆グルッペ「ヒロ」支部展 10月6日(木)~11日(火) 神戸市立こうべまちづくり会館
- ☆かけはし支部展 11月10日(木)~11月15日(火) 神戸デュオギャラリー
- ☆フォトクラブ「シャドー」支部展 12月7日(水)~12月13日(火) 神戸デュオギャラリー
- ☆夢見人支部展 2017年4月18日(火)~4月23日(日) イーグレひめじ市民ギャラリー



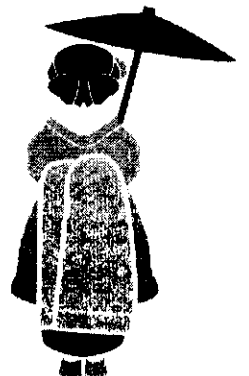
<県本部よりのお知らせとお願い>

1. 応募票が一部変わります

1次通過、2次通過の欄を設けて、それぞれの通過作品には、事務局で丸印をつけることにしました。作品づくりの参考にしてください。応募票は県本部のホームページにあるものか、今回の県本部ニュースと一緒に配布したものかをお使いください。

2. 撮影会参加費納入について再度のお願い

- ・郵便局より指定の金額を申込期限までに下記へ振り込んでください。
振替口座番号00940-3-159426名義 全日本写真連盟兵庫県本部
- ・その際、払込取扱票の通信欄に撮影会名、支部名、参加者名、会員番号を必ず記入してください。



<県本部委員よりのコーナー>

日頃から県本部委員として、担当支部の方々を指導している委員ですが、多くの会員の方々にはその人となりや作品への考えなどを知ってもらえる機会がありませんでした。そこでこのコーナーを通じて少しでも知ってもらえるようになればと思います。トップバッターは坂本副委員長兼事務局長にお願いして書いてもらいました。次から1～2名ずつ書いてもらって紹介していきたいと思います。

全日写連90周年、好きなクラブは日写連、100周年を目標に・・・

坂本正子

今年、日写連は90周年を迎えました。いろいろな行事が企画されています。

私が日写連に入会したのは平成元年の頃ですから、平成と共に歩んできたような気がしています。その頃の日写連は、どの地区も永年写真をされている先生方で活気あふれた集団でした。撮影会も一泊、半泊まり、演出、ヌードも頻繁にあり楽しい思い出が残っています。

支部に入会して、毎週日曜日ごとに撮影会にでかけたものでした。早朝から夜遅くまで、皆先生についてまわりました。

今は新しい支部を担当するようになり、支部の方達と撮影会に出かけています。できるだけ撮影の機会を多く持ちたいと、2～3支部合同で遠くまででかけることもあります。

兵庫県下には44支部があり、それぞれ特徴があると思います。それぞれの支部で人間関係や作品づくりに励み、支部を守り立てて欲しいと思います。

作品づくりもデジタルの時代で、操作や表現も多岐に及んでいますが、自分で作り出す楽しみもあります。目的を持って、計画を立て、撮影に臨んでみると、それなりに成果が出るようになります。楽しみながら達したいものです。

好きなクラブは日写連、新聞は朝日、100周年を目標に頑張りましょう！



<作品づくりの参考に>

編集子が写真を習い始めた頃に、写連の先生やプロの先生から、教えて頂いたり言われたりしたことを、思い出すまま順不同で書いてみます。会員の方々の参考になることがあれば幸いです。

- ・写生ばかりしてはダメ、写真はドキュメントとサブジェクトである。
- ・作品とは、自己主張である。個性を盛り込むこと。実在の形を借りて奥を見せるもの。自分の心を見る人に伝えるもの。機械で写すから、選択であり、認識である。
- ・写真は見せ方の問題ではなく、何を見せるかの問題である。
- ・主題が強い場合は、素直に主題だけで見せる。そして、どんな場合でもピントは主題に合わず。
- ・スナップポートレートについて
 - ・人を写すということは、その人の人生を見せるところにある。
 - ・モデル探しが大切・・・ユニークな子や人
 - ・バックの処理が大切。その人の環境がわかる、またはボケの利用
 - ・ライティングが大切・・・逆光または半逆光
 - ・シャッターチャンス・・・多く切って一番良いものを選ぶ
- ・コンタクトシートから写真を選ぶ場合
 - ・理詰めで選ぶ・・・ピントがしっかりしている。目の表情が生きている。
 - ・一枚で完結しているものは、単写真として選ぶ。
 - ・一枚では完結していないが、何枚かで言いたいことが表現できるものは組写真として選ぶ。
 - ・自分なりにどうしても気になるコマも選んでおく。

